



無理なく、続けられる

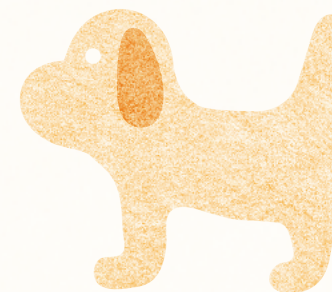
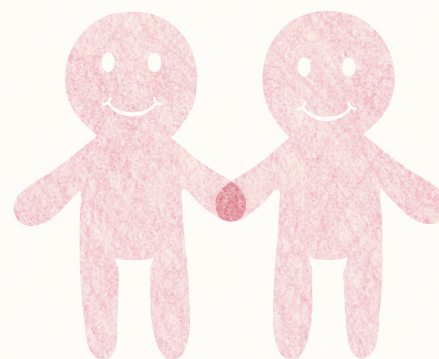
ナチュラリープラス®

The Global Healthcare Company



笑顔のために、地球のために、今、私たちにできること

社会貢献活動レポート 2015





笑顔のために、地球のために、 今、私たちにできること



私たちナチュラリープラスは、人と人との絆を何よりも大切にし、人の「絆」が原動力となるダイレクト販売システムを通して地球全体を健康に導く健康支援企業を目指しています。

かけがえのない地球。そこで暮らす私たちは、みんな同じ「宇宙船地球号」の一員です。人種や国境を越えた一つの共同体の中で、笑顔のために、地球のために私たちにできること。ひとりでは微力でも、会員の皆さまとの強い絆のチカラを合わせることで社会に役立つ活動の輪が大きく広がっていく。

NEXT100 地球に笑顔 ナチュラリープラス

私たちの社会貢献活動はこのポリシーのもと、「こども支援活動」「盲導犬育成支援活動」「環境保全活動」の3つの社会貢献活動に取り組んでいます。

ヘルスケアカンパニーとして社会と共生しながら成長を続けるためには何が必要かを常に考え、社会貢献活動を通じて世界中の人々が健康で、幸せに包まれる社会の実現を目指します。

そして目の前にある状況だけでなく、先をも見通した息の長い貢献、単なる寄付や物資支援にとどまらない、「参加型」の貢献をよりグローバルに展開し、会員の皆さまと共に取り組んでまいります。





NEXT100 地球に笑顔 ナチュラループラス

これはナチュラループラスの社会貢献活動のスローガンです。

100年後の未来にも社会のために必要とされる企業であり続けることを目指すとともに、
思いやりと優しさにあふれた社会が100年といわず、その先も続くよう、
企業としてできることに真摯に取り組んでいこうという強い思いが込められています。

こども基金などを通じて、会員の皆さまからの温かな思いやりをいただきながら
地球規模でビジネスフィールドを提供する企業として、新しいスローガンのもと、
ナチュラループラスらしいグローバル規模での社会貢献活動を進めています。

ここにお届けする社会貢献活動レポートは、
こうしたナチュラループラスの企業活動を紹介させていただくものです。
これからもより良い社会の実現を目指したナチュラループラスの社会貢献活動に、
何とぞご理解とご協力を賜りたく、今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



株式会社ナチュラループラス
代表取締役社長

名越 隆昭



笑顔あふれる地球のために、私たちができること。

ひとりのチカラは微力でも、

会員の皆さまとチカラを合わせることで

社会に役立つ活動の輪が大きく広がっていく。

笑顔のために、地球のために。

ナチュラリープラスの社会貢献は

会員の皆さまとの強い絆のチカラでできています。



NEXT100

シンボルキャラクター「なっぴー」

社会貢献活動の概要

こども支援活動

盲導犬育成支援活動

環境保全活動

ナチュラリープラスがこれまで取り組んだこと（2015年12月現在）

サマーキャンプ「がんばれ共和国」を通して、延べ**6931名**の難病の子どもたちとその家族、ボランティアの方々を支援しています。

盲導犬育成支援活動で**1153名**以上の子どもたちや大人たちに盲導犬の必要性について学ぶ機会を設けています。

ギニア共和国ボッファ市に小学校を建設、**100名**以上の子どもたちが卒業しました。

育児放棄や虐待などで心に傷を負った子どもたちの夏の遊育事業で**271名**が生命の尊さや人と人との絆について学びました。

全国各地の海岸、河川、公園の清掃に**2664名**が参加、**691袋**（90L/袋）のごみを回収しました。

視覚に障がいがある児童・生徒・学生のためのヘレン・ケラー記念音楽コンクールにて**176名**の子どもたちに音楽を通じて夢を与えました。



地球上のすべての子どもたちの笑顔のために

子どもたちの笑顔は地球全体のかげがえのない財産です。子どもたちの幸せは、地球の幸せです。でも、病気や家庭の事情、貧困や災害といった不可抗力により、笑顔の毎日がかなえられない現状があるとしたら、今、私たちにできることは何でしょう。

ナチュラリープラスは、子どもたちが笑顔にあふれた毎日を送れる社会の実現を支援しています。

ナチュラリープラス こども基金

貧困や災害、原因不明の難病、いじめや虐待などに苦しみ悩んでいる子どもたちがいます。

私たちは世界中のすべての子どもたちが“笑顔”で過ごせるよう、2008年9月「ナチュラリープラス こども基金」を設立いたしました。「100円」の寄付金が付いた「こども基金製品」による寄付金とナチュラリープラスの拠出金を合わせ、子どもたちを支援している各団体へお送りしています。

あなたの寄付が子どもたちの笑顔につながります。

「こども基金」寄付金の流れ



「こども基金製品」のご購入やサロン募金など、会員の皆さまからの寄付金が「こども基金」へ繰り入れられます。会社からも支援金を拠出します。

会員の皆さまからの寄付金は、子どもたちへの支援活動に役立つよう、大切に運用させていただきます。「こども基金」運営にかかる経費は、会社拠出金の一部で賄います。

子どもたちを支援している各団体へ寄付金を送ります。

“100円の思いやり”が、未来を担う子どもたちのための活動に役立てられます。



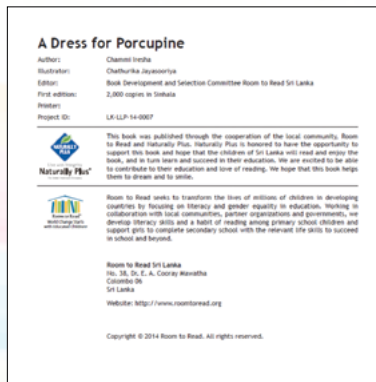
ナチュラリープラス
こども基金





ナチュラリープラスの寄贈メッセージ付き 現地語出版プログラムを支援

現地語出版プログラムとは、現地の作家やイラストレーターを発掘し、オリジナルの児童書を出版するプログラムです。発展途上国では、母国語で書かれた子ども向けの本はとても少ないのですが、このプログラムにより、子どもたちの年齢や文化にふさわしい内容が現地語で書かれた絵本を届けることができます。「ルーム・トゥ・リード」が支援する学校や図書館に寄贈されます。本の裏表紙にはナチュラリープラスの社名ロゴや寄贈メッセージが掲載されました。



NPO法人
ルーム・トゥ・リード・ジャパン

「子どもの教育が世界を変える」
この信念のもと、活動を行っています。



事務局代表
松丸佳穂氏

世界中には、読み書きのできない子どもたちが今なお2億5千万人以上もいます。日本にいとこの切実さはなかなか理解するのが難しいのですが、命に関わることさえあります。そして何より、本を通じて知ることのできる「大きな世界」への道が閉ざされてしまうのです。教育という最大の贈り物を、ルーム・トゥ・リードを通して全ての子どもに提供していきたい。これが、私たちの究極の目標です。このたびは、温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。



サマーキャンプ“がんばれ共和国”しぞーかキャンプ

難病の子どもたちとそのご家族が医療スタッフのバックアップのもと、「友だちつくろう」を合言葉に楽しい時間を過ごしました。

- 開催場所 「川根温泉ホテル」(静岡県島田市)
- 開催日 2015年8月7日(金)～9日(日)
- 参加者数 26家族159名(医療・介護スタッフ、ボランティアの方を含む)



VOICE

- 親同士の交流もあったり、イベントも盛りだくさんで、子どもよりも楽しんでしまいました(笑)。リフレッシュできた3日間ですし、なにより皆さんからパワーをもらいました。
- 息子の20歳の誕生日をこのキャンプで迎えられてよかったです。来年も続けて参加したいです。
- たくさんのスタッフに支えられながら元気に3日間過ごすことができました。子どもたちのために活動してくれてありがとうございます。
- 子どもが年々成長しているのを実感できました。いい思い出がたくさんできました。
- 普段の生活では味わえない感動がありました。
- 小さな命を精いっぱい輝かせ、勇気と愛を振りまく子どもたち。そのお手伝いになる「こども基金」は素晴らしいです。貴重な経験をありがとうございました！
- 今回初めてボランティア参加させていただいて、ただただ驚きの連続でした。

認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

原因が不明、治療法が確立されていないなどの難病や慢性疾患とたたかう25万人以上の子どもたちとその家族を支えています。

子どもたちの“明日を生きる力”を支えています。



認定NPO法人
難病のこども支援全国ネットワーク
会長 小林信秋氏

全国各地で行っている「がんばれ共和国キャンプ」は、希望者が多く「キャンセル待ち」の状態ですが、2015年は全国8カ所で開催できました。深く感謝しております。難病で苦しむ子どもたち、その親、関係者が出会い、さまざまな思いを共有する貴重なひとときです。末永くご支援いただけたらうれしく思います。



長良川宿泊学習

たくさんの人と出会い、大自然の中で思い切り遊び、自然に返ることで自立していくことを学びました。

- 開催場所 岐阜県郡上市
- 開催日 2015年8月22日(土)～23日(日)
- 参加者数 44名(支援者、ボランティアの方を含む)



VOICE

- とにかく楽しい2日間となりました。大自然の中で子どもたちと触れ合ったこと、一緒に共同作業をしたこと、とても貴重な体験ばかりで、多くの場面で大人が忘れていている素直な心を学ぶことができたと感じています。
- 地元の岐阜でボランティアができると聞いてすぐに申し込みました。バーベキューや流しそうめんを子どもたちと一緒に準備したり食べたりしたことや、一緒にラフティングができたことが本当に楽しかったです。
- 最近小学生の子どもたちと話したり遊んだりする機会がなかったので不安交じりで参加しましたが、行きのバスの中でやったビンゴゲームで盛り上がり、着いてからの流しそうめん、スイカ割り、BBQに長良川の鵜飼見学、翌日のラフティングと盛りだくさんのイベントを楽しみ、子どもたちともたくさんお話しができて仲良しになりました。子どもたちの良い思い出になっていたらうれしいなと思います。

NPO法人 子どもの村 Kyoto

育児放棄や虐待などで心に傷を負った子どもたちやそのご家族へのカウンセリング、児童虐待防止の啓蒙、子育て支援などに取り組んでいます。

傷ついた子どもたちが、「こども基金」の活動で将来に希望をもてるようになり、笑顔で未来を見つめています。



NPO法人
子どもの村 Kyoto
山中康裕氏

ボランティアも参加いただいた会員の皆さまが、子どもと真剣に向き合う姿は、子どもたちに強い絆、信頼となって心に刻まれています。心にしっかり刻まれた思い出は、今後も生きる原動力となるはず。このようなイベントは末永く継続してこそ意味があります。会員の皆さまと共にこのイベントを継続していけたらと思います。これからもよろしく願いいたします。



ナチュラループラス こども基金

「ナチュラループラス こども基金」は、製品購入時にご参加いただける社会貢献活動で、「ナチュラループラス こども基金運営理事会」が管理・運営しています。

運営理事会に毎月「こども基金」の収支、活動内容を報告しています。

理事長

名越隆昭

（株式会社ナチュラループラス
代表取締役社長）

理事

水野克裕（同・取締役専務執行役員）
鈴木隆之（同・取締役）

「こども基金」社内理事 メッセージ

この一年間も皆さまのご厚情によりまして、たくさんの子どもたちの笑顔に接することができましたこと、心より感謝申し上げます。

今期はスケジュールが幸いし、私自身も支援活動のいくつかにご一緒する念願がかないました。岐阜県郡上市のキャンプ場で開催された子どもの村 Kyotoの宿泊研修プログラム、静岡県島田市の川根温泉ホテルにて開催された難病のこども支援全国ネットワークのサマーキャンプ、同法人の主催で行われた山梨県日野春駅から白州町のあおぞら共和国までのチャリティウォークなどです。

子どもの村 Kyotoは、虐待の防止や被虐待児との共同活動によって、子どもの健全な育成と居場所づくりに取り組んでいます。難病のこども支援全国ネットワークは、まだ治療法が確立されていない700種類を超える難病と向き合い、こうした難病とたたかっている全国25万人以上の子どもたちと家族、それを支える多くの人々とのネットワ

ークづくりを推進することで、彼らの生活の質を高めることに力を尽くされています。

参加していた子どもたち、家族の皆さま、ボランティアスタッフの方々の笑顔に接すること、開催にあたってお力添えできることにこの上ない喜びを感じます。一方で、識者の方のお話を伺うにつけ、こうした機会に恵まれない方や大きな問題を抱えている方がまだまだいらっしゃることに気付かされます。

少しずつでも前進し続けることが未来を変えると信じ、ナチュラループラスは引き続き微力を尽くしてまいります。

今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。



株式会社ナチュラループラス
取締役専務執行役員
水野克裕

「ナチュラループラス こども基金」第17期収支報告

前期繰越金残高(2014/8/31)		¥5,874,162
当期収入	こども基金製品 寄付金	¥5,102,500
	サロン募金箱 他	¥283,939
	当期収入合計	¥5,386,439
当期支出	NPO法人 ルーム・トゥ・リード・ジャパン	¥1,677,722
	社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会	¥4,050,000
	NPO法人 子どもの村 Kyoto	¥1,500,000
	NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク	¥1,500,000
	その他／諸費用	¥4,320
	当期支出合計	¥8,732,042
基金残高		¥2,528,559

(2014年9月1日～2015年8月15日 現在)



不安を、安心に変えるために。 喜びを、さらに大きくするために。

「盲導犬と出掛けるようになって、今まで以上に外出が楽しみになった」という方がいます。「大切なパートナーの盲導犬と一緒にいると、ハーネスを通してお互いの気持ちが分かり合える。だから、寂しくありません」と、そうほほ笑んでくれました。目が不自由なことで生じるさまざまな不安を、安心に。そして生きる喜びをさらに大きくするために、私たちは盲導犬育成支援活動を続けてまいります。

〈夏休み親子体験DAY〉

「夏休み親子体験DAY」は日本盲導犬協会ご協力のもと、目の不自由な方との接し方や、盲導犬がどのように育成・訓練されるのかを、体験実習と施設内の見学を通して親子で学ぶ、参加型社会貢献プログラムです。

〈プログラム内容〉

- ・日本盲導犬協会についての紹介
- ・目が見えないこと、見えにくいことについて（見え方にもいろいろな種類があることについて体験）
- ・盲導犬について（実際に盲導犬の仕事や役割、訓練の様子を見学。盲導犬をより身近に感じ、理解を広げます）
- ・施設内見学
- ・盲導犬歩行体験実習

開催日	開催場所	参加人数
2015年7月30日(木)	島根あさひ訓練センター	36名
8月27日(木)	盲導犬の里 富士ハーネス	17名



VOICE

- 障がいのある方が過ごしやすい生活ができるように、私たちも知識と理解を深めることが大切だとあらためて思いました。
- 盲導犬をまだまだ必要としているのに対して、3分の1くらいの人にしか行き渡っていないことを知りました。声を大にして皆に協力をお願いしたい!と強く思いました。
- アイマスクをして盲導犬と一緒に歩いてみると初めは思ったより怖かった。でも盲導犬が障害物をちゃんとよけてくれて安心して歩けた。
- 日本には30万人以上目が見えない人、見えづらい人がいる中、盲導犬の数は約1000頭しかいないので、もっと盲導犬が増えて人の助けになればいいと思います。
- カンナ(盲導犬)と歩けて楽しかったです。



公益財団法人 日本盲導犬協会

盲導犬の育成と視覚障がい者の社会参加を推進するための活動を行っています。実際に盲導犬と触れ合えるセミナーや体験会を行うことで、盲導犬の役割、必要性を伝えていきます。

「盲導犬の必要性」や「社会の受け入れ」
などをより多くの方に伝えていただきたい。



公益財団法人 日本盲導犬協会
東京本部普及推進部
飯田篤史氏

1頭の盲導犬の誕生には、多くの人の力と時間が必要です。パートナーだった盲導犬が引退した後も多くのユーザーが新しい盲導犬と歩くことを希望されており、新規に希望されている方へ行き渡らないのが現状です。これから盲導犬を希望している方は、約3000人。我々は1頭でも多くの良質な盲導犬を育成し続けます。



街をキレイにすると、気持ちまでキレイになる。

例えば、人に癒やしを与えてくれる公園を「ありがとう」の気持ちを込めて清掃する。青々と輝く木々に囲まれて、みんな生き生きとしている。街をキレイにすると、気持ちまでキレイになる。そこに住む人も、街そのものも、きっと笑顔になっていく。私たちは環境保全の視点から、活動の輪を広げています。

ナチュラリープラス「NEXT100」おそうじキャラバン

100年先まで社会と共に成長する企業を目指す取り組み「NEXT100」の一環として、海岸や公園、道路など自分たちの身近な地域の環境を保護するために、全国各地の会員の皆さまと共に清掃活動に取り組んでいます。



これまでのおそうじキャラバン

活動歴	開催日	開催場所	参加人数	ゴミの量
第1回	2008年 7月 4日(金)	静岡県沼津市	230名	約 100袋
第2回	2008年12月13日(土)	沖縄県那覇市	401名	約 150袋
第3回	2009年 5月17日(日)	大阪府大阪市	340名	約 46袋
第4回	2009年 6月27日(土)	北海道札幌市	192名	約 22袋
第5回	2009年11月 8日(日)	宮城県松島町	632名	約 77袋
第6回	2009年12月 9日(水)	香川県高松市	148名	約 165袋
第7回	2010年 6月 5日(土)	東京都大田区	385名	約 26袋
第8回	2012年 1月22日(日)	沖縄県那覇市	127名	約 83袋
第9回	2014年 6月21日(土)	東京都大田区	210名	約 22袋

VOICE

- 普通に歩いているときには気付かないような場所にもたくさんのごみが落ちていてびっくりしました。
- 親子で一緒に参加できて良かったです。“ポイ捨てはダメだよ”と何度も注意するより、今回の1回の体験のほうが子どもの気持ちに何倍も響いたようです。今後も普段自分たちが生活する環境を大切にする意識をもってもらえたらと思います。
- そうじを終えた後のスッキリ感と、みんなで取り組むことの連帯感は格別ですね!
- ごみ拾いは気持ちいいですね! 遊歩道と一緒に気持ちもスッキリしました!



世界に広がる笑顔の輪。



Taiwan

台湾盲導犬協会への支援活動

「台湾盲導犬協会」は「つえ以外の選択肢があることを知っていただきたい」との思いから2002年に設立された団体です。ナチュラリープラス台湾では、2005年より積極的に支援を続けています。



2014年12月28日 台中サロンクリスマスイベント募金 & 体験活動

2015年 8月15日 高雄西子湾イベント募金 & 体験活動



喜憨児社会福利基金会への支援活動

喜憨児社会福利基金会 (CHILDREN ARE US FOUNDATION) とは、心身に障がいのある子どもたちが社会に出たときに困らないように、中学生、高校生のときから自立を支援する団体です。

2013年から台北サロンにて心身に障がいのある子どもたちの手作りのお菓子を2時間販売しております。会員の皆さまから「とてもおいしい」と評判でした。

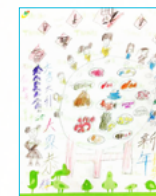


毎月恒例
台北サロンで2時間お菓子販売コーナー

2014年12月27日
高雄サロンでお菓子販売コーナー

忠義育児園への支援活動

忠義育児園は何らかの理由で親と一緒に暮らせない子どもたちを代わりに育て、子どものために、養子縁組も積極的に協力しています。



◀ 忠義育児園の子どもたちから「感謝絵」をいただきました。

2015年旧正月
CFC会員の皆さまおよびスタッフと一緒に新年をお祝いし、衣類を子どもたち全員にプレゼントしました。



Malaysia

“アガペ子どもの家”チャリティーイベント

“アガペ子どもの家”の子どもたちをKLCC水族館に招待し、チャリティーイベントを開催しました。



献血チャリティー

クアラルンプールサロンにて献血チャリティーイベントを開催しました。



盲人協会への募金活動

サロンに募金箱を設置し、2011年より盲人協会への募金活動を実施しています。



Singapore

2015年1月14日、ホスピスケア施設“HCA Hospice Care”の入居患者29名の方々をシンガポールの新名所である植物園“ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ”にご招待しました。会員ボランティアの皆さん、NPSG社員スタッフと一緒に歌を歌ったり、ダンスをしたり、また2つのドーム型施設Flower Dome & Cloud Forestでは世界各国の珍しい植物や、色鮮やかな花々を鑑賞。末期の病を抱え、普段なかなか外出の機会の少ない患者の方々ですが、笑顔があふれる1日になりました。



Indonesia

衣料品リサイクル

2015年7月、社員と会員の皆さまで協力し、衣料品をAksi Cepat Tanggap (チャリティー団体)に寄贈しました。





2000	04	財団法人 日本盲導犬協会への支援活動開始	04	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(東京、北海道サロン)
				日本盲導犬総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」見学会開催
2003	06	日本赤十字社へ寄付金贈呈	05	油山自然観察の森(福岡)、大阪南港野鳥園(大阪)にて「自然観察会」開催
	09	第11回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛	06	新宿御苑(東京)にて「自然観察会」開催
			08	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(北海道サロン)
2004	10	第1回「盲導犬チャリティ LPGAエバーグリーンゴルフカップ」への協賛	11	ナチュラープラスの森候補地の決定
				「ナチュラープラスカップ 第1回視覚障がい者ゴルフ大会」への特別協賛
2005	07	第2回「盲導犬チャリティ LPGAエバーグリーンゴルフカップ」への協賛		
	10	第13回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛	2008	02
		NPO法人バードライフ・アジアへの支援活動開始		財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、
		ギニア共和国ボッファ市への学校建設支援		会員から寄せられた募金総額(2007年度分)を贈呈
			04	「NEXT100」構想発表
2006	01	ナチュラープラス 社会貢献ポリシーの発表、参加型支援活動開始	06	ミャンマー・サイクロンおよび中国・四川大地震被災地に義援金送付
	07	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、福岡サロン)		財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、北海道、福岡サロン)
		NPO法人 バードライフ・アジア協働プロジェクト	07	「ナチュラープラス こども基金」構想発表
		「ナチュラープラスの森説明会 & 自然観察会」開催(東京、北海道サロン)		静岡県沼津市にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
		財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて		岩手・宮城内陸地震被災地に義援金送付
		「盲導犬訓練センター子供体験DAY」開催		日本盲導犬総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」にて
		財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(東京、北海道サロン)		「夏休み親子体験DAY」開催
	09	NPO法人 バードライフ・アジア協働プロジェクト	08	財団法人 日本盲導犬協会 仙台、神奈川訓練センターにて
		「ナチュラープラスの森説明会 & 自然観察会」開催(大阪、福岡サロン)		「夏休み親子体験DAY」開催
		財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催	09	「ナチュラープラス こども基金」開始
		第14回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への協賛		第16回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
	10	第3回「盲導犬チャリティ LPGAエバーグリーンゴルフカップ」への協賛		「ナチュラープラス こども基金」より、
	12	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(東京、北海道サロン)		NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」へ支援開始
			12	沖縄県那覇市にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
2007	01	財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、	2009	02
		会員から寄せられた募金総額(2006年度分)を贈呈		財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、
	03	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、福岡サロン)		会員から寄せられた募金総額(2008年度分)を贈呈
			03	理事報告会



- 2009 04 「ナチュラリープラス こども基金」より、
児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」へ支援開始
- 05 大阪府大阪市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 06 財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、北海道、福岡サロン)
「ナチュラリープラス こども基金」より、「盲導犬キャラバン」に支援開始
北海道札幌市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 07 財団法人 日本盲導犬協会 仙台訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
- 08 財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
「ナチュラリープラス こども基金」より、
児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催研修
「親子で1日ほっこりしましょう」を支援
「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 富士山キャンプ」を支援
- 09 「ナチュラリープラス こども基金」より、
児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」へ支援開始
- 11 宮城県松島町にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 12 香川県高松市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 2010 01 「ナチュラリープラス こども基金」より、2010年「盲導犬学校キャラバン」開催
- 04 第3回理事報告会
- 06 東京都大田区にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 07 財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、北海道、福岡サロン)
「ナチュラリープラス こども基金」より、
児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催
研修「絆・自立の再生村づくり」を支援
「ナチュラリープラス こども基金」より、
財団法人 日本盲導犬協会主催の「盲導犬学校キャラバン」支援の
締めくくりとして、同協会仙台訓練センター実施の宿泊研修
「ワン! ぱっく子サマースクールin仙台」を支援
財団法人 日本盲導犬協会 仙台訓練センターにて
「夏休み親子体験DAY」開催

- 08 財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて
「夏休み親子体験DAY」開催
「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 黒潮おさかなキャンプ」を支援
- 09 第18回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- 2011 01 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催 創立60周年記念チャリティー
「ハッピー60thコンサート」への特別協賛
- 07 公益財団法人 日本盲導犬協会 島根あさひ訓練センターにて
「夏休み親子体験DAY」開催
「ナチュラリープラス こども基金」より、東日本大震災 被災地の子どもたちを
プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス戦」に招待
「ナチュラリープラス こども基金」より、
児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催
研修「淡路島宿泊体験学習～絆～」を支援
公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪サロン)
- 08 「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 黒潮おさかなキャンプ」を支援
東日本大震災被災地に義援金送付
- 09 公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(北海道、福岡サロン)
- 2012 01 沖縄県那覇市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 08 公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(東京、大阪、北海道、福岡サロン)
「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 あしがらキャンプ」を支援
「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
宿泊研修「遊びから学ぶ遊育事業～子どもたちにゆめを～」を支援
- 11 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催
第62回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」への特別協賛



- 2013 07 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催(東京、福岡サロン)
「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
宿泊研修「サマーキャンプ～夏の思い出 子どもたちにゆめを～」を支援
- 08 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催(大阪、北海道サロン)
「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「サマーキャンプ2013がんばれ共和国」を支援
- 09 「ナチュラリープラス こども基金」より、
特定非営利活動法人「子供地球基金」への支援を開始
- 10 こども基金製品を従来の2製品から全製品に広げる
こども基金製品ご購入者に「こども基金ポストカード」を進呈
- 11 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催
第63回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」に特別協賛
- 12 フィリピン共和国の台風被害に対して義援金送付

- 2014 06 東京都大田区にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 07 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催(北海道サロン)
- 08 「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 七タキャンプ」を支援
- 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催
(大阪、福岡、東京サロン)
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
宿泊研修「夏のおもてなし研修」を支援
- 10 「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
「人とのつながりを学ぶワークショップイベント」を支援
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「あおぞら共和国」建国に向け、ウォーキングイベントを支援
- 11 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催
第64回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」に協賛

- 2015 04 NPO法人「ルーム・トゥ・リード・ジャパン」主催「現地語出版プログラム」を支援
スリランカの学校や図書館に絵本を約5000部寄贈
- 07 公益財団法人 日本盲導犬協会 島根あさひ訓練センターにて
「夏休み親子体験DAY」開催
- 08 「ナチュラリープラス こども基金」より、
認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 しぞーかキャンプ」を支援(全国8カ所)
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、
NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催「長良川宿泊学習」を支援
- 日本盲導犬総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」にて
「夏休み親子体験DAY」開催
- 09 公益財団法人 日本盲導犬協会主催
第23回「盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- 10 認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「チャリティウォーク」へ製品協賛



株式会社 ナチュラリープラス

〒106-6035

東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー35F

TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011

<http://www.naturally-plus.com>